

## 第 53 回紫友まち歩き

### 「谷端川」跡を歩く

小石川高校の名前の由来となった「小石川」。一年前には大塚から谷端川の下流の小石川跡を歩きました。今回はその上流部分の「谷端川」跡を、源流目指して歩きます。第四学区歩きです。

コース選定のきっかけは、今年と同窓会誌に「小石川・谷端川」を寄稿なさった、03 回 小原氏と 04 回海野氏からの提案でした。

日時：2015 年 10 月 31 日(土)

天気：曇りで、少し寒いくらい。

集合時間：13 時

集合場所：大塚駅改札前自由通路

参加者：14 名

案内人：019 高橋俊一さん

懇親会：六本木 サテンドール

懇親会参加者：13 名

今回の歩数：参加者の歩数計で 17,500 歩でした。

久しぶりに足の裏が痛くなった。

<まち歩き>:

■まち歩き行程

大塚駅→ 板橋駅→ 谷端川緑道 → 川越街道 → 椎名町→ 熊谷守一美術館→ 粟島神社（源流）→ 千川駅

懇親会参加者：有楽町線千川 5 時 → 霞ヶ関  
経由 六本木懇親会場へ

<スタート>

① 大塚駅に集合

大塚駅前、大先輩の海野さんと案内人の高橋さんから、本日のまち歩きの概要説明がある。



② 巢鴨新田

昔のがん研そばに巢鴨新田の交番がある。千川上水の分水が谷端川に流されて、初めて米を作ることができるようになり、「巢鴨新田」の地名が付いたと案内人の説明。都電の駅名にも残っている。



この道路の下は暗渠で、谷端川が昔は流れていたと想像する。



豊島区設置の谷端川についての説明板があった。



### ③ 明治通りを横切り板橋に向かう

昔の明治通りはどうなっていたのか。どのような橋があったのでしょうか。案内人の説明によると、震災後の帝都復興道路として都市計画されたもので、昭和初年に通されたもの。以前の細い道はいわゆる鎌倉街道のひとつだったため「鎌倉橋」が架かっていました。



### ⑤ 谷端川緑道

赤羽線をくぐると 谷端川緑道が始まる。



一の橋、二の橋、三の橋が川の存在していた名残を残している。

### ④ 板橋駅

赤羽線の谷端川自由通路地下道ガードをくぐる。入口案内の説明では谷端川が矢畑川と書かれているのはまずいのではと話し合う。



### ⑥ 東上鉄道記念碑

下板橋駅の踏切の手前を少し右手に曲がって行くと東上鉄道記念碑がある。



少し戻って、踏切を渡る。駐輪場も暗渠の上。



地元からの参加の人が子供時代の様子を説明してくれた。



### ⑤ 谷端川緑道の続き

一時間ほどゆっくりと谷端川の緑道を歩いていく。ところどころに橋の跡が残っている。

境橋は立教大学のそばなので、十字架と蔦の模様になっているという。



少し離れたところの大きな建物が立教大学だという。



緑道は、西武池袋線に突き当たってしまう。整備された緑道はここで終わるが、暗渠は線路の下を通っていると案内人。



右に進み、迂回してさらに先に進む。

## ⑥ 椎名町

椎名町駅の踏切を渡る。椎名町駅のホームの先の場所下も川の名残だという。



ここからは道はまっすぐ。



## <不参加の長崎育ちの仲間の案内>

谷端川のまち歩きは、千川、椎名町、熊谷守一美術館という名が出てきて私が生まれ育った長崎から近く、大変懐かしく興味を掻き立てられま

した。

千川は小中学校の頃までは土手の桜並木が素晴らしく、ごぎを持ってお花見に繰り出したものです（私のお花見の原点）。学校の写生行事の定番でもありました。七五三のお参りは椎名町駅前の長崎神社でした。隣接して帝銀事件の現場。「あの時はみんな大騒ぎで近所中で帝銀に駆けつけた」と母からよく聞かされました。

（参考：帝銀事件とは、1948年（昭和23年）1月26日に東京都豊島区长崎の帝国銀行（後の三井銀行。現在の三井住友銀行）椎名町支店（1950年に統合閉鎖され現存しない）で発生した毒物殺人事件。）

線路の南側の椎名町という地名は今は消えてしまいましたが、駅名に残っていてくれるのが、古い人間にとってはなんとなくありがたいものです。

駅周辺（特に山手通りの下）はぐっと土地が低くなっていて、変だな～といつも思っていたのですが、川が流れていたのですね！

## ⑦ 熊谷守一美術館

次女の榎（かや）が設立した美術館。



守一は明治維新まもなく1880年（明治13年）生まれ、1977年（昭和52年）に亡くなる。敗戦前後から画面をはっきり線で区切り、面を平塗画風に変わったという。

（写真は売店のもので、撮影OKです。）



次女の櫃は活発な女性であったようで、スキーなど色々とやってきている。絵や彫刻も飾られている。



美術館の外壁にも守一の絵が刻まれている。



そばの家の木をねぐらにしていた鳥の和名は、『ワカケホンセイインコ』でした。どこかの家から逃げたのが、野生化したのでしょうか。



集合写真を撮る。



### ⑧ 栗島神社（源流）

新田義貞の祈願所として知られていたという。弁天池はにわかには信じがたいが、湧水だったそうだ。



谷端川の源流を見学。



### ⑨ 千川駅

千川駅を過ぎて、千川上水から谷端川に分水していた地点と思われる場所を確認後、まち歩きは終了。解散。



懇親会に行く人は六本木に向かう。



### ⑩ 懇親会

富樫さんのデビュー10周年コンサートを楽しみました。コンサートは例年通り盛況で、歌と演奏を楽しみました。

当日はハロウィーンと土曜日が重なり、仮装した若い人たちでごった返していました。



以上